

下水道による市内の浸水対策

横浜市会議員 伏見ゆきえ



自民党戸塚区連合支部女性局長

伏見ゆきえ

1968年2月24日、川崎で誕生。2歳で横浜へ。私立橘女子高等学校卒業、歯科医院に勤務、東京中央ヤクルト販売㈱ヤクルトレディーに、歯科医院に勤務、2015年横浜市会議員初当選、2019年二期当選

台風シーズン到来。浸水から街を守る下水道には、汚水と雨水の管を別々にした「分流式」と、1つの管に流し込む「合流式」の2つがあります。当然、水量の多い合流式は浸水を招きやす

いのですが、市域での割合はわずか4分の1程度です。ただ戸塚駅周辺は合流式のため十分注意が必要ですが、そこで特殊なホール蓋の更新箇所を必要です。そこで特殊なホール蓋の更新箇所を必要です。そこで特殊な

自宅浸水に注意を

合流式下水道のご家庭で気をつけてほしいのが「自宅浸水」です。豪雨時に湯船にたまっていた水を抜いたり、シャワー利用時に水を流しすぎたりすると、下水道に大量の雨水が注ぎこまれてい

るため、排水溝から水が逆流して自宅が浸水することがあります。

対策として豪雨時には排水量を減らし、浸水を起こしやすいトイレや風呂場の排水溝付近に水囊を積んでおきましょう。

内水ハザードマップ改定

市は現在近年の降雨状況の変化を踏まえ、様々な降雨の浸水シミュレーションを実施中で、令和3年度出水期前の改定公表を予定しています。

-----連絡事務所-----

〒244-0816 戸塚区上倉田町390-1表ビル1-8

☎045・443・5757

FAX045・443・5671

HP <http://fushimiyukie.com/>

Facebookで日々の活動を配信中!